

仮使用承認申請について

1 仮使用承認

危険物施設が変更許可を受けた場合、この変更許可に係る工事が開始された後は危険物施設の使用が禁止され、この禁止は完成検査終了時（完成検査済証交付時）まで継続されます。

しかし、危険物施設の一部に変更の工事が開始された場合に、変更許可を受けた施設のすべての使用を一律に禁止することが、所有者等に過重な負担を与える等実情にそぐわない面も考えられるため、工事中の安全が確保される場合に限り、変更許可に伴う変更工事に係る部分以外の部分の全部又は一部について、使用することに対して承認を受けた部分を仮に使用することができます。

2 仮使用承認の基準（審査基準第16章）

承認部分の変更の工事に係る部分以外の部分であることが前提で、変更の工事に係る部分は承認することはできません。したがって、段階的に工事を行うため、工事着手が工期終盤となる部分も、工事に係る部分であることから、仮使用することはできません。

3 変更許可申請との関係

- (1) 仮使用承認申請は、変更許可申請と同時に受け付けることを原則とします。
なお、同時に受け付けない場合は、変更許可申請の受付後に行ってください。
- (2) 仮使用承認の終期は、変更許可に係る工事の完成検査済証交付時とします。
- (3) 仮使用承認申請は、変更許可申請ごとに必要とします。したがって、同一の製造所等において変更許可を複数回行われるような場合は、その都度、仮使用承認申請を行う必要があります。

4 仮使用承認申請内容の変更（期間のみの変更は含まない。）

(1)	承認前の変更	申請内容の変更として取り扱い、手数料を新たに徴収することはありません。
(2)	承認後の変更	新たに仮使用承認申請を要するものとして取り扱い、再度手数料を徴収します(再申請をもって、前の仮使用承認は失効するものとし、取下げ願いは必要としません。)

5 添付書類について

仮使用承認申請書に添付する図面等は、承認の審査に当たって必要な危事務規程第6条第3項各号に掲げる図面等とし、承認の審査に不必要な変更許可申請の図面等を重ねて添付する必要はありません。

仮使用承認に必要な書類（危事務規程第6第3項各号）

- (1) 工事計画書（第4号様式）
- (2) 安全管理計画書（第5号様式）
- (3) 仮使用の範囲及び工事に必要な範囲を示した平面図等
- (4) 仮使用部分の安全対策のために必要な設備の位置及び構造に係る書類及び図面
- (5) その他、災害の発生の防止上必要なことに関する書類及び図面

仮使用承認申請書の記入例

仮使用承認申請書の記載要領

仮使用承認申請書は、次に示す記載要領に留意し、記入してください。

様式第7（第5条の2関係）

① ~~製造所~~
危険物~~貯蔵所~~仮使用承認申請書
取扱所

② 京都市長 殿 申請者		元号〇〇年〇月〇日	
③ 住所 京都市〇〇区〇〇町〇番地の〇（電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇）			
氏名 株式会社 〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇			
設置場所 ④	京都市〇〇区〇〇町〇番地の〇		
製造所等の別 ⑤	取扱所	貯蔵所又は 取扱所の区分	⑥ 一般取扱所
変更許可申請年月日	⑦ 元号〇〇年 〇月 〇〇日		
変更の許可年月日 及び許可番号	⑧ 元号〇〇年 〇月 〇〇日 京都市指令〇〇〇第〇〇号		
仮使用の承認を 申請する部分	別添図面のとおり		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日		
	承認番号		

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。

2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

3 変更の許可前にこの申請を行おうとする場合にあつては変更許可申請年月日の欄に、変更の許可後にこれを行おうとする場合にあつては変更の許可年月日及び許可番号の欄にそれぞれ記入し、いずれか記入しない欄には斜線を入れること。

4 ※印の欄は、記入しないこと。

① 申請書及び提出部数の確認等

ア 仮使用承認申請書は、危規則様式第7により、2部提出してください。

イ 製造所、貯蔵所、取扱所のうちいずれか該当する方を○で囲むよう記入する又は該当しない方を二重取消線で消してください。

② 申請宛先は、「京都市長」と記入してください（氏名は原則として不要）。

③ 申請者は、申請に係る製造所等の設置者と同一の方としてください。ただし、次に掲げる方は、申請者となることができます。

設置者から許可申請に係る権限を委任された方（委任状等の書面が必要）

管理者又は申請者などで、既に申請権があることが届出されている方

印は私印を使用することもできますが、法人の代表者印は代表者の職名を示したものを使用してください。

なお、許可申請の委任状に仮使用承認申請に関する権限を委任事項として記載されている場合は、委任状の添付は必要ありません。

④ 変更許可申請書の設置場所と同一の場所としてください。

⑤ 製製造所等の別は、製造所は「製造所」、○○貯蔵所は「貯蔵所」、○○取扱所は「取扱所」と記入してください。

変更許可申請書に記載されている製造所等の別と同一としてください。

⑥ 貯蔵所又は取扱所の区分は、危政令第2条又は危政令第3条に規定する区分により、「屋内」、「給油」等と記入してください（「屋内貯蔵所」、「給油取扱所」等と記入することもできます。）。

変更許可申請書に記載されている製造所等の別と同一の区分としてください。

⑦ 申請する工事に係る変更許可申請年月日を記入してください。すでに許可されている場合は、記入の必要はありません。

⑧ 申請する工事に係る変更許可年月日を記入してください。許可されていない場合は、記入の必要はありません。

工事計画書、安全管理計画書及び添付図面の留意事項

工事計画書の記載要領

工事計画書は、次に示す記載要領に留意し、記入してください。

第4号様式（第6条関係）

工 事 計 画 書

工 事 期 間	① ○○年 ○月 ○日から ○○年 ○月 ○日まで		
工 事 の 内 容	② 固定給油設備及び固定注油設備（計2基）の更新及びアイランドの拡張		
火気取扱状況	③ なし		
作 業 工 程	④ ○月 ○日（休業日）に取替え実施		
工 事 部 分 以 外 での 危険物取扱状況	⑤ 地下タンクによる貯油のみ		
消 火 設 備	⑥ 工事用 ABC 粉末 消火器 10 型 2 本	警 報 設 備	⑦ 加入電話 (○○○) ○○○-○○○○
仮使用承認を受 けるために行う 必要な措置等 ※	⑧ ・休日施工で地上での危険物の取扱いはしない。 ・危険物保安監督者及び工事責任者立会いのもとで行う。 ・仮使用承認済の掲示をする。		
危険物保安監督者	⑨ ○○ ○○	危険物取扱者	⑩ ○○ ○○
施 工 業 者	⑪ ○○(株) ○区○町○番地	工 事 責 任 者	⑫ ○○ ○○ TELO○○-○○○○

- 備考 1 工事期間が長期の場合は、工事日程表を添付すること。
2 軽微な変更工事の場合は、※印の欄に火災予防上講じる措置等を記載すること。

- ① 工事期間は、仮使用承認申請に関連する変更許可申請の工事期間に適応した期間を記入してください。
- ② 工事の内容を簡潔に記入してください。
- ③ 工事に伴い、火気又は火花を発生する設備、器具を使用するときは、設備、器具名及び使用目的等を記入してください。
- ④ 作業工程を記入してください。工事の内容が、時期とともに変わる場合は、その工期ごとの日程、防火上の措置等の関係が明確に判別できる工事日程表等を添付してください。
- ⑤ 仮使用部分の危険物貯蔵、取扱状況を簡潔に記入してください。
- ⑥ 工事部分に追加する消火設備を記入してください。
- ⑦ 仮使用部分及び工事部分における警報設備を記入してください。
- ⑧ 防火区画の状況、危険物保安監督者の立会等講じる必要な措置を記入してください。
なお、工事が長期の場合は、④と併せ工事日程表等を添付してください。
- ⑨ 変更申請に係る製造所等において、危険物保安監督者が選任されている場合に危険物保安監督者の氏名を記入してください。
- ⑩ 変更申請に係る製造所等における危険物取扱従事者の氏名を記入してください。
- ⑪ 施工業者(工事元請)の名称、所在地を記入してください。
- ⑫ 工事の現場責任者(工事元請)の氏名、連絡先を記入してください。

2 安全管理計画書の添付が必要となるもの

変更工事の全部又は一部の施工を、元請の施工業者から他の施工業者に下請けさせる場合で、かつ、変更工事に伴い、溶接、溶断又は掘削等の火気又は火花を発生する設備、器具を使用する場合に添付が必要となります。

3 安全管理計画の留意事項

- (1) 安全管理計画書は、危険物施設の多種多様な工事内容について、特に実際の現場工事作業者までの施工業者側(元請工事管理者)の火気管理等並びに施設管理者と施工業者相互間の安全対策の徹底を図るため計画するもので、工事の規模、内容の実態に即した具体的な安全対策を策定してください。
- (2) 仮使用承認申請者ではなく、施設の設置者に対して提出を求めるものであることに注意してください。
- (3) 別途計画書を作成しているときは、添付してください。
- (4) 記入に当たっては、「危険物施設における事故防止対策等の推進について」(S 6 2 危 9 5)の内容に留意し、個々の工事に適応した安全管理計画を立ててください。

第5号様式（第6条関係）

安 全 管 理 計 画 書

施設管理者名	① ○○ ○○	工事管理者名	② ○○ ○○
元請業者と下請業者の名称・責任者及びその関係	③ 元請施工業者 ㈱○○ 責任者○○ ○○ 下請施工業者 ㈱□□ 責任者○○ ○○ ㈱○○から㈱□□に下請け依頼		

1 所有者等が計画し、行わなければならない事項	
保安教育の実施	④ 危険物保安監督者○○を施設管理者とし、施設管理者から従業員に対し、工事前日までに工事内容に係る保安教育を実施する。
工事の事前打合わせ	⑤ 元請施工業者㈱○○の責任者○○を工事管理者とし、所有者及び施設管理者は、工事管理者と工事日程及び内容を事前に打ち合わせする。
工事中の報告体制	⑥ 工事進捗状況について、工事管理者から施設管理者に逐次報告する。計画に変更が生じた場合には、施設管理者から所有者に報告し、保安上問題がないかを確認する。
現場確認の方法	⑦ 工事区画について、安全柵及び防災シートにより区画し、工事区画である旨の掲示板を見やすい位置に掲示し、従業員に工事関係者以外の立入禁止であることを周知する。
休日の管理体制	⑧ 休日は、危険物の貯蔵及び取扱いは行わない。休日に事故が発生した場合には、工事管理者から所有者に報告するとともに、工事関係者により、通報、消火を実施する。 夜間は、安全柵等により工事部分を区画したままとし、工事を中断する。建物の出入口には施錠し、人の出入りが無い状態とする。
火気使用の許可	⑨ 所有者は施工業者に対し、火気使用器具であるガスバーナーについて、施設内での使用を許可する。ガスバーナーは配管の溶接時に使用し、使用期間は休日のみとする。使用時には、施設内での危険物の貯蔵及び取扱いは行わない。また、ガスバーナー使用時には、工事区画内には可燃物は持ち込まない。
現場管理の状況把握	⑩ 工事管理者は、工事の進捗状況について把握するとともに、工事計画に変更が生じた場合には、所有者及び施設管理者に対し、報告する。
施設管理者及び工事管理者への指示等	⑪ 所有者は、進捗状況に応じ、保安上問題がないかを検討し、問題がある場合には是正するように施設管理者及び工事管理者に指示する。
事故時の通報・情報連絡体制	⑫ 事故発生時には、ただちに工事関係者から工事管理者及び施設管理者に事故の発生について報告し、施設管理者が予防規程の規定に基づき、従業員とともに、通報、消火及び避難を実施する。

2 工事管理者が計画し、行わなければならない事項	
工事業者が行う工事種別の把握	⑬ 工事管理者は、下請施工業者㈱□□に、ガスバーナーを使用し、配管溶接工事を実施させる。
工事種別ごとの安全対策	⑭ 工事管理者は、ガスバーナー使用時には、工事関係者全員に周知するとともに、工事区画内に可燃物がないかを確認する。 ガスバーナー使用前に、ガスバーナー使用時に危険物施設内に危険物の貯蔵及び取扱いが行われないことを、施設管理者に確認する。
工事全体の安全管理状況の把握	⑮ 工事管理者は、工事内容について把握し、事故が発生しないように工事関係者から異常の発生について報告を受ける体制をとる。

備考 別途計画書を作成しているときは、当該計画書を添付すること。

- ① 施設管理者は、工事をする施設を実質的に管理している方を記入してください。
- ② 工事管理者は、元請施工業者の責任者等の工事を監督する立場になる方を記入してください。
- ③ 元請業者と下請業者の施工業者名及び責任者を記入し、その関係を記入してください。
- ④～⑫ 所有者等の施設の管理について責任のある方が、工事を安全に実施するために、計画し実施すべき事項について、記入してください。
- ④ 施設を使用する方を対象とした工事に係る保安教育を実施する計画を記入してください。
- ⑤ 施設管理者と施工業者相互間の安全対策の事前の打ち合わせの計画を記入してください。
- ⑥ 工事施工業者から所有者及び施設管理者に対し、工事の進捗状況等の報告体制について記入してください。
- ⑦ 施設を使用する方が工事を行う現場を確認する方法について記入してください。
- ⑧ 休日及び夜間等、施設の関係者及び工事関係者が不在になる時の管理体制について記入してください。
- ⑨ 所有者等が施工業者に対し、工事に伴い使用を許可する火気又は火花を発生する設備、器具について、安全を確保するために遵守する事項について記入してください。
- ⑩ 所有者等が現場管理の状況を把握するために定める計画を記入してください。
- ⑪ 所有者が施設管理者及び工事管理者に対し、工事の安全を確保するために指示すべき事項について、記入してください。
- ⑫ 事故発生時の連絡体制について、誰が何をするかを明確に記入してください。予防規程による場合は、その旨を記入してください。
- ⑬～⑮ 工事管理者が、工事を安全に実施するために、計画し実施すべき事項について、記入してください。
- ⑬ 施工業者ごとの担当の工事の工程を記入してください。
- ⑭ 火気又は火花を発生する設備、器具を使用する工程及び、工事全般について安全対策を記入してください。
- ⑮ 工事管理者が、工事全体の状況を把握し、安全を確保するための計画について記入してください。